

**Report of**  
**“IEEE Leadership Training Workshop 2012 at Meiji University”**

IEEE Student Branch at Meiji University Chair 勝田 広樹

## もくじ

1. 本報告書について	・・・2
2. 参加者一覧	・・・3
3. 活動報告	・・・5
4. Group Work まとめ	・・・11
5. 集合写真	・・・16
6. 謝辞	・・・17

## 1. 本報告書について

2012年12月15日(土)明治大学の駿河台キャンパスにて IEEE Leadership Training Workshop (LTW) を開催した。本ワークショップの内容について報告する。

## 2. 参加者一覧

本ワークショップへの参加者を以下にまとめる。

北海道大学 2名

杉谷 将宏  
島崎 貢佑

東北大学 1名

川又 先生

東京大学 今回欠席

東京工業大学 3名

西原 先生  
時岡 綾  
Aravind T.N.

慶應義塾大学 2名

佐藤 丈博  
山口 哲平

横浜国立大学 2名

金 泯秀  
大日方 裕也

東京都市大学 2名

西山 譲二  
中居 敬太

東京電機大学 5名

大越 先生  
高山 峻佑  
長谷川 翔悟  
元原 将策  
安田 真

明治大学(幹事校) 14名

井家上 先生  
勝田 広樹  
後藤 昂博  
山川 泰典  
秋山 智哉  
小川 宏  
武井 雄一郎  
大浜 俊樹  
川村 健人  
小林 直弘  
齋藤 陽介  
酒田 昌幸  
福島 直也  
町田 達哉

東京理科大学 4名

大野 先生  
中村 聡  
倉田 博之  
笠原 拓朗

早稲田大学 3名

中里 先生  
金井 謙治  
植村 あい子

静岡大学 2名

古川 治樹  
竹内 康裕

名古屋大学 2名

神野 雄人  
須崎 修平

大阪大学 3名

尾上 先生  
信田 龍哉  
上野 美保

立命館大学 2名

高田 信一  
村田 紀文

京都大学 2名

川島 潤也  
奥畑 英祐

奈良先端科学技術大学院大学 2名

藤原 賢二  
中川 尊雄

兵庫県立大学 2名

佃 光樹  
郭 悠翔

関西大学 1名

河野 翔太

山口大学 2名

廣川 貴之  
石橋 卓治

香川大学 3名

澤田 先生  
石上 陽一  
武田 優斗

徳島大学 今回欠席

熊本大学 2名

萩尾 悠樹  
松村 周平

中央大学 3名

橋本 先生  
加納 安曇  
橋本 駿

東京農工大学 2名

石垣 雄太朗  
富井 圭一

IEEE Kochi Student Group 2名

岡田 浩臣  
三谷 慶太

IEEE JC Tokyo Section Vice Chair

雁部 洋久 様

Tokyo Young Researchers Workshop 2名

本堂 貴敏  
長谷川 孔明

以上 71名

### 3. 活動報告

2012年12月14日（金）に懇親会を，2012年12月15日（土）にワークショップを行った。

懇親会は2012年12月14日（金）18:15-19:45 明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー23階 矢代操ホールにて，参加者51名で行われた。懇親会中，新しく立ち上げられた中央大学SBへのバナー授与と，立ち上げから10年が経過した香川大学SBへの盾の授与が行われた。



ワークショップは2012年12月15日(土)9:00-15:00に明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー13階 1133教室にて、参加者71名により以下の日程で行われた。

9:00-9:10

- (1) Greetings
- (2) Self Introduction of JC SAC Members
- (3) Agenda Confirmation

9:10-10:00

- (4) Leadership Training

10:00-10:15

- (5) Report of Tokyo Young Researchers Workshop

10:15-10:25

<break>

10:25-12:00

- (6) Self Introduction and Student Branch Activity Report (4min each)

12:00-13:00

Lunch

13:00-13:25

- (7) Introduction of the IEEE Region 10 Humanitarian Technology Conference 2013 (R10 - HTC2013)

13:25-14:50

- (8) Workshop/Group Discussion

14:50-15:00

- (9) Concluding Remarks



各日程について簡単に説明する.

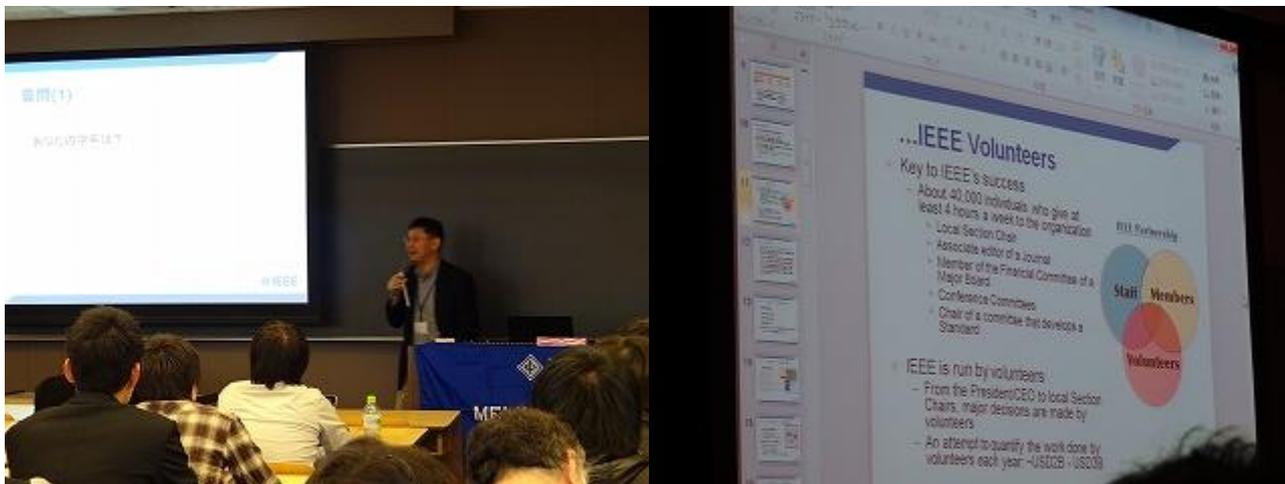
(1) Greetings, (2) Self Introduction of JC SAC Members, (3) Agenda Confirmation

JC SAC Chair の井家上先生が挨拶を行い, その後 Vice Chair の澤田先生, Secretary の中里先生を含めて自己紹介が行われた.



#### (4) Leadership Training

IEEE R10 SAC の尾上先生により学生たちへ、IEEE Student Branch の活動を行うに当たって IEEE の組織や学生活動の行い方についての説明が行われた。



#### (5) Report of Tokyo Young Researchers Workshop

2012年11月27(火)に行われた The 9th IEEE Tokyo Young Researchers Workshop の活動報告を、本堂さん、長谷川さんが行った。また各 SB へ TYRW 実行委員の募集を行った。







## 4. Group Work まとめ

上記日程の(8) Workshop/Group Discussion にて Group Work として貿易ゲームを行った。貿易ゲームの概要は次の通りである。

### ワークショップ「貿易ゲーム」

貿易ゲームとは、紙（資源）や道具（技術）を不平等に与えられた複数のグループ（国家）の間で、できるだけ多くの富を築くことを競うシミュレーションゲームです。

ゲームの狙い：現実の自由貿易システムを擬似体験してみましょう！

不平等な初期条件を与えられた各国が貿易を通して富を増やしていく中で、次第に経済格差が生じてきます。不利な初期条件の国は果たして経済大国になれるのでしょうか？限られた資源・技術とみなさんのアイデアを駆使して、世界一の経済大国を目指してください！

【ルール説明】

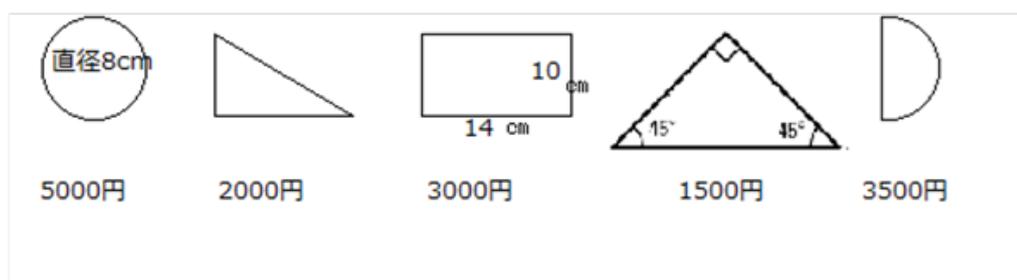
勝利条件：ゲーム終了後に最も多くのお金を持っていたグループの勝ち

ゲーム開始前：各グループには、不平等に紙と道具が与えられている。

ゲーム中にできること

1. 道具を用いて紙を加工し「製品」を作成する
2. 「製品」を銀行で換金する（製品の品質が悪い場合は、換金できないことがあります。）
3. 他国と貿易する（取引内容は自由。現物交換、貸与、雇用契約など何でもあり。詐欺は禁止。）
4. 情報収集を行う（他国の人と会話できる。）

なお、製品の換金額は下記の通りである。



制限時間は 50 分。終了時間を過ぎた場合一切の換金が行われない。終了時に列に並んでいた場合は可。

【注意事項】

- ・この紙を材料として用いることは禁止
- ・配布物以外の道具は使ってはならない
- ・他のグループとの約束事は必ず守ること
- ・スパイ行為はしていいが勝手に他のグループのものを盗まないこと
- ・4 部屋間の移動は可能

グループ(国)分けは次の通りとした.

IEEE IC Student Branch Leadership Training Workshop 2012

### A国

氏名	Branch (所属)
杉谷 将宏	北海道大学
中川 尊雄	奈良先端科学技術大学院大学
須崎 修平	名古屋大学
中村 聡	東京理科大学
三谷 優太	IEEE Kochi Student Group
西山 隼二	東京都市大学

IEEE IC Student Branch Leadership Training Workshop 2012

### B国

氏名	Branch (所属)
島崎 貴佑	北海道大学
萩尾 悠樹	熊本大学
佃 光樹	兵庫県立大学
信田 龍哉	大阪大学
倉田 博之	東京理科大学
本堂 貴敏	Tokyo Young Researchers Workshop
中居 敬太	東京都市大学

IEEE IC Student Branch Leadership Training Workshop 2012

### C国

氏名	Branch (所属)
高山 峻佑	東京電機大学
長谷川 孔明	Tokyo Young Researchers Workshop
時間 綾	東京工業大学
松村 周平	熊本大学
郭 悠翔	兵庫県立大学
上野 美保	大阪大学
笠原 拓朗	東京理科大学

IEEE IC Student Branch Leadership Training Workshop 2012

### D国

氏名	Branch (所属)
長谷川 翔梧	東京電機大学
Anavind T.N.	東京工業大学
加納 安曇	中央大学
河野 翔太	関西大学
高田 信一	立命館大学
金井 謙治	早稲田大学

IEEE IC Student Branch Leadership Training Workshop 2012

### E国

氏名	Branch (所属)
植村 あい子	早稲田大学
元原 将策	東京電機大学
佐藤 文博	慶應義塾大学
橋本 駿	中央大学
廣川 貴之	山口大学
村田 紀文	立命館大学

IEEE IC Student Branch Leadership Training Workshop 2012

### F国

氏名	Branch (所属)
古川 治樹	静岡大学
町田 達哉	明治大学
山口 哲平	慶應義塾大学
石垣 雄太郎	東京農工大学
石橋 卓治	山口大学
川島 潤也	京都大学

G国

H国

氏名	Branch (所属)
奥畑 英祐	京都大学
竹内 康裕	静岡大学
安田 真爾	東京電機大学
高井 圭一	東京農工大学
金 浜秀	横浜国立大学
石上 陽一	香川大学

氏名	Branch (所属)
藤原 賢二	奈良先端科学技術大学院大学
神野 雄人	名古屋大学
福島直也	明治大学
岡田 浩臣	IEEE Kochi Student Group
武田 優斗	香川大学

各グループには次の道具(資源)を与えた.

	紙	はさみ	コンパス	定規	分度器	三角定規	鉛筆
A	9	0	0	1	0	1(二等辺)	1
B	5	1	0	0	1	1(直角)	1
C	0	2	1	1	0	0	1
D	40	0	0	0	0	0	0
E	10	0	0	1	0	0	1
F	5	0	0	1	1	1(直角)	1
G	9	0	0	1	0	1(二等辺)	1
H	0	2	1	1	0	0	1

また, ゲーム進行中には製品の流通具合により, 価格を変動させた. 価格変動はゲームスタートから 10 分おきに最も売れてる製品の価格を-500円, 最も売れてない製品の価格を+500円とした.

以上のルール, グループ分けでゲームを行ったところ, 結果は次の通りとなった.

	集計金額(円)	順位
A	15,000	8
B	233,500	3
C	331,000	2
D	384,000	1
E	88,000	6
F	66,000	7
G	93,500	5
H	224,500	4

結果発表後、各グループにコメントをもらった。以下にまとめる。

・A国(8位)

最初の資源：紙×9，定規，三角定規(二等辺三角形)

紙と定規があったので型までは作れたが，はさみを入手するのに手間取った。

最終的に割の悪い条件をのんで少額を得た。紙も余った。

→自チームの不利さを把握しきれていなく，早い段階ではさみを入手すべきだった。

・B国(3位)

最初の資源：三角定規(直角)，分度器，鉛筆，はさみ，紙×5

Bチームは製品を作る紙(資源)，道具(技術)共に一通り揃っており，また他チームが紙または道具しか持っていない状況から，交渉する必要がないと判断した。自チームのみで製品を作成し資金に換金したが，途中で自国が作成していた製品の値段が下がり，思った以上に資金を稼ぐことができなかった。

・C国(2位)

最初の資源：はさみ×2，コンパス×1，鉛筆×1

C班は最初資源が全くありませんでした。技術的にはとても豊かであり技術力を武器に交渉をうまくすることで高順位を狙う方針を立てました。しかし，序盤に積極的な交渉を行えなかったことと終盤に良い条件で技術と資源の交換をおこなっていたつもりが結果的にうまく利用されてしまったことが1位のチームと差を広げてしまう要因ではないかと思いました。交渉をもっとうまく行うことができれば1位も狙うことができたので残念でした。

・D国(1位)

最初の資源：紙×40

D班は豊富な資源を持ったチームでした。しかし，資源しかなかったため技術力のあるチームと協力することで勝機を得る必要がありました。チームの方針として積極的な交渉により，技術力を持った先進国チームに生産をやってもらうという作戦を進めた点が勝因だったと考えます。巧みな交渉力で先進国を上手に利用し，効率よく生産を行うことで1位に輝くことができました。

・E国(6位)

最初の資源：定規，鉛筆，紙×10

Bチームは，はさみはないが紙と定規が揃っていた。他チームと交渉することではさみを得たが，製品の制作能力が低く，資金がうまく稼げなかった。

・F国(7位)

最初の資源：定規，分度器，三角定規，鉛筆，紙×5

Hチームは，製品を作成する道具(技術)と紙は揃っていたものの，はさみがなかった。

利益率の高い半円が作れるはずなのだが，はさみをうまく調達することができなかったため，大きな資

金を得ることができなかった。

#### G 国(5 位)

最初の資源：紙×9，定規，三角定規（二等辺三角形）

紙が多くあったが，最初に出し渋ってしまった。

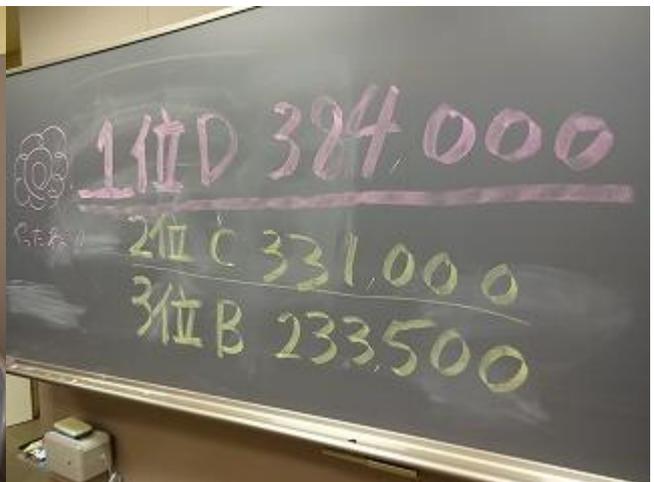
紙 5 枚とはさみの交換を持ちかけられたが，対応が遅れてしまいトレードできなかった。早めにはさみを手に入れておけばさらに後順位を狙うことができたと思う。

#### H 国(4 位)

最初の資源：はさみ×2，コンパス，定規，鉛筆

H チームは，製品を作成する道具(技術)は揃っていたものの，紙(資源)が全くなかった。

そこで最初は，道具を持つてはいるが紙がない他のチームと手を組み，紙を豊富に持っているチームから効率よく紙を調達し，資金を稼ごうとした。しかし，途中からこの方法では勝つことができないと判断し，それぞれのチームで紙を調達し資金を稼いだ。



## 5.集合写真

ワークショップ終了後に集合写真を撮影した。以下に示す。



## 6. 謝辞

本ワークショップ開催にあたり各大学の参加者の皆様，カウンセラーの先生方，IEEE JC Tokyo Section の雁部様，Tokyo Young Researchers Workshop の関係者の皆様には多大なるご協力をいただきました。皆様には心より御礼申し上げます。